

# 畜産みやぎ

題 字

宮城県知事 村井嘉浩

発行所

仙台市宮城野区安養寺三丁目11番24号

一般社団法人 宮城県畜産協会

電話 022-298-8473

編集発行人

高橋 正

印刷所

(株)東北プリント



仙台空港 検疫探知犬 (左)ギガ号 (右)琥珀号

## もくじ

### CONTENTS

- みやぎ県北畜産クラスター協議会の取り組みについて・・・2-3
- 豚熱(CSF)ワクチン接種推奨地域への指定について・・・3
- 仙台空港 検疫探知犬の配置について・・・4
- 「“おうちで食べよう” 仙台牛キャンペーン」を開催します・・・5
- 農林水産祭参加第60回仙台牛枝肉共進会の開催について・・・6
- 「岩手競馬・畜産フェア」開催報告・・・6
- 一般社団法人宮城県畜産協会 新役員のお知らせ・・・7
- 令和2年度価格安定対策事業関連発動状況について・・・7
- 〈畜試便り〉新しい基幹種雄牛「<sup>よしひさかつ</sup>好久勝」号について・・・8
- 〈衛生便り〉牛の真菌性流産について・・・9
- 令和3年度宮城県農業大学校入校生を募集  
(一般入校試験前期)・・・9
- 〈農業大学校生の抱負〉将来の夢・・・10
- 〈New face〉・・・10-12



みやぎの  
畜産情報  
発信基地

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <http://miyagi.lin.gr.jp>

畜産みやぎは上記ホームページからもご覧いただけます。



## みやぎ県北畜産クラスター協議会の取り組みについて

### みやぎ県北畜産クラスター協議会

#### 1 協議会設立の経緯

みやぎ県北畜産クラスター協議会（以下、協議会）は、栗原地域の養豚における収益力向上を目指し、平成30年8月に設立しました。

#### 2 取り組み内容

協議会では、畜産クラスター計画の重点テーマとして、飼養規模の拡大、労働負担の軽減、自給飼料の利用拡大、環境問題への対応としており、構成員および支援組織と連携して取り組んでいます。

#### 3 施設整備事業の内容

協議会の中心的経営体である株式会社 栗原農場（以下、栗原農場）は、畜産クラスター計画の取り組みを推進するために、令和元年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（施設整備事業）（以下、畜産クラスター事業）を活用して、豚舎および浄化処理施設の整備等を行い、生産を開始しました。

栗原農場が行った畜産クラスター事業の概要は、事業費2,197,800千円（うち補助金998,483千円）であり、分娩舎、繁殖舎、子豚舎、肉豚舎、浄化槽施設の整備等行いました（表1）（写真1、2、3）。施設整備にあたり、地域雇用拡大をはじめ、労働負担軽減につながる自動体重測定機や洗浄ロボットなどの導入も行いました。

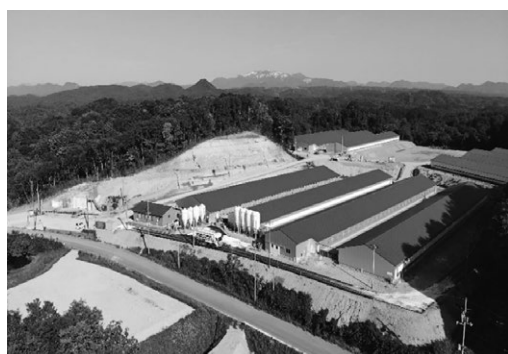
これらの取組みにより事業実施前には26千頭であった年間出荷頭数を46千頭まで飼養規模拡大を目指す計画です。

#### 4 今後の課題と取り組み

今後、協議会としては、クラスター計画目標が達成されるよう課題検討や検証を重ね栗原地域の養豚業における生産基盤強化に取り組んでいきたいと考えております。

表1 施設整備事業の内容

| 活用事業   | 内容・規模    | 整備場所     | 事業費(千円)   | 補助金(千円) | 完了年月日    |
|--------|----------|----------|-----------|---------|----------|
| 施設整備事業 | 繁殖舎 1棟   | 栗原市高清水福塚 | 2,197,800 | 998,483 | R1.12.10 |
|        | 分娩舎 1棟   | 栗原市高清水福塚 |           |         | R2. 3.10 |
|        | 子豚舎 1棟   | 栗原市金成片馬合 |           |         | R2. 3.10 |
|        | 肉豚舎 6棟   | 栗原市金成片馬合 |           |         | R2. 3.10 |
|        | 浄化槽施設 1基 | 栗原市金成大梨  |           |         | R2. 3.10 |



(写真1 子豚舎、肉豚舎)



(写真2 分娩舎、繁殖舎(左))





(写真3 浄化槽施設)



(肉豚舎)



(子豚舎)



(肉豚舎)

(後藤義博)

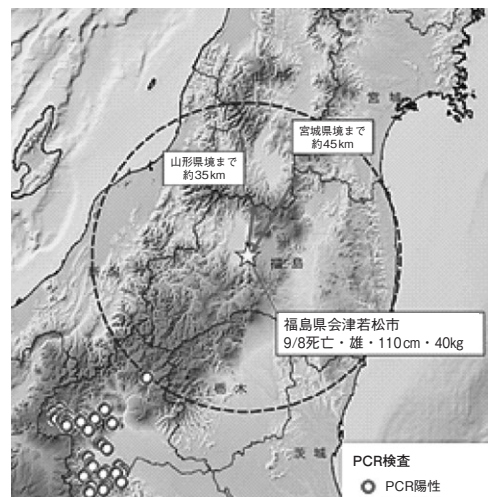
## 豚熱 (CSF) ワクチン接種推奨地域への指定について

宮城県農政部畜産課

令和2年9月9日、福島県会津若松市で発見された死亡野生イノシシ1頭で、CSF陽性が確認されました。これを受け9月11日に開催された食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会第61回牛豚等疾病小委員会において、発見地点から半径100km以内に含まれる宮城県及び山形県が、「ワクチン接種推奨地域」に指定されました。

この指定を受けて、県内で飼育されるすべての豚(153農場、約20万頭)に対するワクチン接種を速やかに開始するため、9月23日から9月25日にかけて県内全域で説明会を開催しました。ワクチン接種プログラムを作成し、関係団体および養豚農家との調整等を図り、ワクチン接種を進めていきますので、ご協力をお願いします。

また、畜産課ホームページ(豚熱(CSF)ワクチンの接種状況について)に随時情報を更新していきますので、ご確認ください。  
(<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tikusanka/csfvaccine.html>)



(公社)中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!  
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!  
配信中の内容:IoT技術の活用/農場HACCP/搾乳ロボット/他



スマートフォンからはこちら  
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

# がんばる! 畜産! 3



(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846

## 仙台空港 検疫探知犬の配置について

宮城県農政部畜産課

日本における検疫探知犬は、平成17年に成田空港へ2頭（国内初）配置された後、平成20年には関西空港へ2頭の「動物検疫探知犬」が、平成24年からは畜産物などの動物検疫と果物などの植物防疫の対象品を探知する「動植物検疫探知犬」が配置されています。令和2年7月現在で96頭が配置されており、今年度末までには140頭が配置される予定となっています。仙台空港でも、令和2年7月に東北地方で初めて、待望の検疫探知犬2頭（ビーグル犬：ギガ号・琥珀号）が配置されました。

検疫探知犬は、旅客の手荷物の中から動植物検疫の検査を必要とする肉製品や果物等を嗅ぎ分けて発見する訓練を受けています。探知活動は国際線の手荷物受取所で行われ、検疫探知犬はハンドラーと一緒に行動し、手荷物の中に対象品が含まれると、その手荷物の前で合図（おすわり）をしてハンドラーに教えます。ASF（アフリカ豚熱）、CSF（豚熱）、鳥インフルエンザ、口蹄疫などの家畜伝染病や植物の病害虫の日本への侵入防止という重要な役割を担っており、令和元年に携帯品及び郵便物として持ち込まれた禁止品等のうち約3割（33千件）が検疫探知犬による実績となっています。

平成30年、中国におけるアジア初のASFが発生して以降、アジア各国へASFの感染が拡大しています。ASFウイルスは豚肉、生ハムや燻製のハム等の豚肉製品の中で数ヶ月もの長期間感染力を維持するため、精肉や非加熱の豚肉製品を介して遠隔地に持ち込まれ、食品残渣の給与等によって感染が拡大する事例が海外で多数確認されています。令和2年2月21日時点で日本においても、中国等アジア地域からの旅客が所有していた豚肉製品（ソーセージ等）から88例でASFウイルス遺伝子が検出され、そのうち2例では生きたASFウイルスも分離されています。ASFウイルス遺伝子陽性の豚肉製品は、仙台空港でも昨年2例確認されており、国内並びに県内へのASF侵入の危険性が非常に高くなっています。新型コロナウイルス感染症の影響で仙台空港発着の国際線は全便欠航となり、検疫探知犬が実際に活動する機会は先延ばしになっていますが、運航再開後は2頭の活躍が期待されます。

なお、豚だけでなく、牛や鶏の伝染病も海外から侵入する危険性があります。全ての畜種の農場において、家畜伝染病の農場への侵入を防止するため、海外渡航者に対して一定期間の農場への出入り制限や、野生動物の侵入防止対策、農場や飼養器具の消毒をこまめに行うなど衛生管理を常に高い水準で保つとともに、異常がみられた場合はすぐに最寄りの家畜保健衛生所または畜産振興部へご連絡ください。



(衛生安全班 矢島りさ)



## 「“おうちで食べよう” 仙台牛キャンペーン」を開催します！

宮城県農政部畜産課

県畜産課では、「仙台牛の日」を盛り上げるため、今年度のみやぎの肉用牛イメージアップ事業で、下記のとおり仙台牛のキャンペーン企画を進めています。

仙台牛銘柄推進協議会と連携し、首都圏及び県内の仙台牛指定店（小売店）の協力を得てキャンペーンを行い、仙台牛について知り、購入できるきっかけを作り、その美味しさを堪能してもらうことで、認知度向上や消費拡大を図ります。

併せて、インターネットを活用した通信販売等により、家庭内でもっと仙台牛を食べていただけるよう、仙台牛の消費を促進する取り組みを行います。

県内では、「仙台牛の日」である10月9日から11月8日までの1か月間に、指定店100店舗程度で、仙台牛購入者を対象として、抽選で仙台牛等が当たるプレゼントキャンペーンを実施します。

さらに、10月9日から12月下旬までの間、インターネット上に通販サイトを特設します。11月8日までにこちらのサイトで仙台牛を購入した方には、小売店でのキャンペーンと連動して、プレゼントが当たるチャンスがあります。この特設サイトでは、仙台牛が購入できるほか、仙台牛の特徴などの紹介やおすすめのレシピ等を掲載しますので、ぜひアクセスしてみてください。

この他にも、県食産業振興課と連携し、広島市や名古屋市、首都圏の百貨店で開催される物産展において、仙台牛のPRを計画しております。

仙台牛は、「ステーキ」や「焼き肉」のほか、「すき焼き」や「しゃぶしゃぶ」など、食卓を華やかにするごちそうとしてぴったりの食材です。一般の消費者の皆様だけでなく、生産者、関係機関の皆様も、ぜひこの機会にご家庭で仙台牛を食べていただき、「仙台牛の日」を盛り上げていただきたいと思います。

## 記

- 1 開催時期：令和2年10月9日(金)から令和2年11月8日(日)まで
- 2 参加店等：仙台牛指定店（小売店）100店舗程度
- 3 内 容：期間中に、参加店で仙台牛を購入した方を対象として、抽選で仙台牛等が当たるプレゼントキャンペーンです。※特設サイトからの購入も対象



(生産振興班 山田真未)

## 農林水産祭参加第60回仙台牛枝肉共進会の開催について

全農宮城県本部畜産部

農林水産祭参加第60回仙台牛枝肉共進会を下記の内容にて開催することとなりましたので、多数ご参観くださるようご案内申し上げます。

## 1. 会期及び場所

- (1) 会期 令和2年11月8日(日)～10日(火)  
 (2) 場所 仙台市宮城野区扇町六丁目3番6号  
 仙台市中央卸売市場食肉市場

## 2. 出品区分及び条件

- (1) 肥育の完成されたものとする。

| 部   | 品 種  | 区 分 | 条 件              |
|-----|------|-----|------------------|
| 第1部 | 黒毛和種 | 去 勢 | 枝肉重量 390kg～650kg |
| 第2部 | 黒毛和種 | 雌   | 枝肉重量 320kg～550kg |

※ただし、瑕疵のある枝肉は審査対象外とする。

- (2) 出品牛は出品者において12ヶ月以上飼養され最長飼養地が県内のものとする。  
 (3) 出品牛は血統明確なもので、これを証明する書類(子牛登記書等)を有すること。

## 3. 出品頭数及び屠畜・販売日

| 部   | 品 種  | 区 分 | 頭 数 | 屠畜月日  | 販売月日   |
|-----|------|-----|-----|-------|--------|
| 第1部 | 黒毛和種 | 去 勢 | 130 | 11月9日 | 11月10日 |
| 第2部 | 黒毛和種 | 雌   | 50  | 11月9日 | 11月10日 |
| 計   |      |     | 180 |       |        |

(生産販売課 酒巻岳仁)

## 「岩手競馬・畜産フェア」開催報告

宮城県地域畜産振興対策協議会

地方競馬の普及啓発と畜産物の消費拡大を図るため、令和2年8月30日(日)岩手競馬水沢競馬場において、宮城、青森、岩手、秋田との4県合同による「岩手競馬・畜産フェア」を開催しました。

当日は、開門と同時に各県畜産加工品の引換券を、正門及び南門にて先着900名様に配布し、12時から16時30分まで随時引換えを行いました。(宮城200名：美里ハム ミートローフ、青森200名：金子ファーム ビーフカレー、岩手400名：ウィンナーセット、秋田100名：秋田牛カレー&比内地鶏カレー)

当日の来場者は1,978名(主催者発表)となり、別イベント(レディースDAY・抽選会・特別グルメ等)も開催され、賑わいを見せました。競馬を楽しんだ後の畜産加工品のプレゼントに来場者は大変喜んでいました。



(事務局 一般社団法人宮城県畜産協会)

一般社団法人宮城県畜産協会 新役員のお知らせ

令和2年度第65回通常総会並びに第2回理事会、第3回理事会、第1回臨時総会において役員が選任され、以下のとおり就任いたしましたのでお知らせいたします。

| 職名     | 氏名    | 所属                   |
|--------|-------|----------------------|
| 1 会長   | 高橋 正  | 宮城県農業協同組合中央会 会長      |
| 2 副会長  | 江畑 正徳 | 宮城県農政部 次長            |
| 3 常務理事 | 山田 文彦 | 学識経験者                |
| 4 理事   | 保科 郷雄 | 丸森町 町長               |
| 5 理事   | 田中 學  | 大郷町 町長               |
| 6 理事   | 大友 良彦 | 全国農業協同組合連合会宮城県本部 本部長 |
| 7 理事   | 寺田 守彦 | (公社)みやぎ農業振興公社 理事長    |
| 8 理事   | 渡邊 清博 | (公社)宮城県獣医師会 会長       |
| 9 理事   | 田中 智之 | 宮城県牛乳協会 会長           |
| 10 理事  | 伊藤 一成 | みやぎの酪農農業協同組合 代表理事組合長 |
| 11 理事  | 大坪 輝夫 | 新みやぎ農業協同組合 代表理事組合長   |
| 12 理事  | 松本 憲  | 加美よつば農業協同組合 代表理事組合長  |
| 13 理事  | 佐野 和夫 | みやぎ登米農業協同組合 代表理事組合長  |
| 14 理事  | 松川 孝行 | いしのまき農業協同組合 代表理事組合長  |
| 1 監事   | 佐藤 敬  | 宮城県農業共済組合 組合長理事      |
| 2 監事   | 舟山 健一 | みやぎ仙南農業協同組合 代表理事組合長  |
| 3 監事   | 横山 亮一 | (株)宮城県食肉流通公社 代表取締役社長 |

なお、下記の役員が退任されましたことを併せてお知らせいたします。

理事 中鉢 正信氏 (前 宮城県農政部 次長)  
理事 榊 原 勇氏 (前 みやぎ登米農業協同組合 代表理事組合長)  
監事 浅野 清氏 (前 みやぎ仙南農業協同組合 代表理事組合長)

令和2年度価格安定対策事業関連発動状況について

一般社団法人 宮城県畜産協会

◎肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン) 交付金単価

(単位:円)

| 販売月                 | 肉専用種(宮城県)                | 交雑種(全国)                  | 乳用種(全国)                |
|---------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|
| 令和2年4月 確定値<br>(概算払) | 289,206.0<br>(285,206.0) | 148,130.1<br>(144,130.1) | 52,145.1<br>(48,145.1) |
| 令和2年5月 確定値<br>(概算払) | 195,690.6<br>(192,690.6) | 146,220.3<br>(142,220.3) | 46,925.1<br>(42,925.1) |
| 令和2年6月 確定値          | 166,763.475              | 190,413.9                | 48,078.9               |
| 令和2年7月 (概算払)        | (118,313.7)              | (176,387.9)              | (35,031.2)             |

※1 令和2年5月より肉専用種は、負担金の枯渇により、国費分のみ(4分の3相当額)の支払いとなります。

※2 令和2年10月以降についても、生産者負担金は納付猶予(実質免除)となります。

◎肉豚経営安定交付金(豚マルキン) 交付金単価

令和2年度 第1四半期(4月~6月) 交付なし

NAR 地方競馬全国協会

岩手競馬(盛岡・水沢開催)10・11月 開催予定表

|     | 1  | 2 | 3  | 4 | 5 | 6 | 7  | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
|-----|----|---|----|---|---|---|----|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 10月 | 木  | 金 | 土  | 日 | 月 | 火 | 水  | 木 | 金 | 土  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|     |    |   | 盛岡 |   |   |   |    |   |   | 盛岡 |    |    |    |    |    |    | 盛岡 |    |    |    |    |    | 盛岡 |    |    |    |    |    |    |    | 盛岡 |
| 11月 | 日  | 月 | 火  | 水 | 木 | 金 | 土  | 日 | 月 | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  |    |
|     | 盛岡 |   |    |   |   |   | 盛岡 |   |   |    |    |    |    | 盛岡 |    |    |    |    |    |    |    | 盛岡 |    |    |    |    |    |    |    | 水沢 |    |

※開催期間中の重賞レース

・10/4(日) 第33回ダービーグランプリ ・10/10(土) 第20回ハーベストカップ ・10/12(月) 第33回マイルチャンピオンシップ南部杯  
・10/18(日) 第40回若駒賞 ・10/24(土) 第10回OROターフスプリント ・10/25(日) 第1回OROオータムティアラ  
・11/1(日) 第11回知床賞 ・11/8(日) 第8回イーハトーブマイル ・11/15(日) 第47回南部駒賞  
・11/23(月) 第10回絆カップ ・11/30(月) 第36回プリンセスカップ



## 〈畜試便り〉

新しい基幹種雄牛「<sup>よしひさかつ</sup>好久勝」号について

宮城県畜産試験場

畜産試験場で繁養している種雄牛「好久勝」号（写真1）が、新しく本県の基幹種雄牛に選抜されました。この「好久勝」号は、名牛「茂洋」号の息牛である「好平茂」号の初の後継種雄牛です。現場後代検定の結果から、肉量に秀でた特徴が示されており、時代のニーズにマッチし、本県の肉用牛の改良と、「仙台牛」のブランド力向上に大きく貢献できるものと期待しています。

## 【「好久勝」号のプロフィール】

「好久勝」号は、父に「好平茂」号、母の父に「安福久」号、母の母の父に「平茂勝」号をもち、茂金系、田尻系および気高系の流れをバランスよくもつ血統構成です。

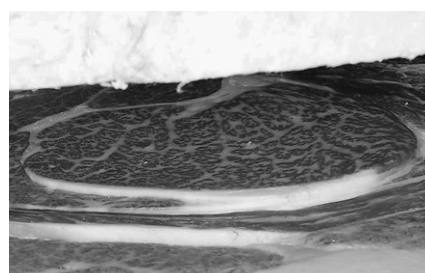
現場後代検定（去勢13頭、雌6頭）の成績は表-1のとおりです。宮城県において現場後代検定を実施した種雄牛の中では、枝肉重量が歴代最高となりました。また、ロース芯面積は歴代2位となり、脂肪交雑の能力も申し分ない成績です。父牛である「好平茂」号の現場後代検定成績と比較しても、枝肉重量をはじめとしたほとんどの形質で「好久勝」号が上回っており、改良の成果が得られています。

さらに性別ごとに詳しく検定成績をみると、去勢産子の平均は枝肉重量572.2kg、BMS No.8.2と安定した成績であり、雌産子の平均は枝肉重量476.2kg、BMS No.10.2と去勢産子を上回る脂肪交雑の成績です（A5率：去勢産子74%、雌産子100%）。特に、雌産子の中には、枝肉重量500kgを超える肥育牛もあり、性別を問わない肉量が持ち味です。畜産試験場が算出した推定育種価においては、枝肉重量、ロース芯面積で県基幹種雄牛平均を上回り、県の改良方針に基づく総合育種価でも、「茂福久」号に次ぐ値となっています。

本牛の体型の特長としては、体躯の深さと伸びやかさに優れ、発育も良く、父牛である「好平茂」号譲りの体積感を誇ります。直接検定時の飼料の利用性を示す余剰飼料摂取量の値も優れていたことから、子牛の発育、および効率的なエサの利用も期待されます。



(写真1) 新しい基幹種雄牛「好久勝」号



(写真2) 産子の枝肉写真（BMS No.11, A5）

表-1 現場後代検定成績（検定牛19頭平均）

|      | ①枝肉重量<br>(kg) | ②ロース芯面積<br>(cm <sup>2</sup> ) | ③バラの厚さ<br>(cm) | ④脂肪交雑<br>(BMS No.) |
|------|---------------|-------------------------------|----------------|--------------------|
| 好久勝  | 541.9         | 75.1                          | 9.0            | 8.8                |
| 好平茂  | 489.0         | 67.4                          | 8.7            | 8.0                |
| 全国平均 | 461.3         | 58.2                          | 7.8            | 6.3                |

①枝肉重量（重い方がよい） ②ロース芯面積（大きい方がよい）  
③バラの厚さ（厚い方がよい） ④脂肪交雑（高い方がよい）  
全国平均は、平成31年3月までに出荷された広域後代検定の平均値。

## 【期待される交配と家畜人工授精用凍結精液配布時期】

「好久勝」号は、検定成績からみると繁殖雌牛の血統や産歴を選ばない安定した能力を持っているものと思われます。ただし、「好平茂」号の娘牛との交配は、近交係数が高くなるため注意が必要です（「茂洋」号の娘牛との近交係数は7%程度のため交配可能です）。また、種雄牛自身が太柄であるため、その産子は生時体重が重く、骨格が大きくなる可能性があることから、未經産牛や骨格の小さい繁殖雌牛への交配には注意が必要です。

家畜人工授精用凍結精液は、令和2年9月から配布しています。

注）現場後代検定：種雄牛の産子を一般の肥育管理のもとで肥育し、後代（産子）に伝わる遺伝能力（増体・産肉能力など）を判定する検定

（酪農肉牛部肉牛チーム 青沼達也）



## 〈衛生便り〉

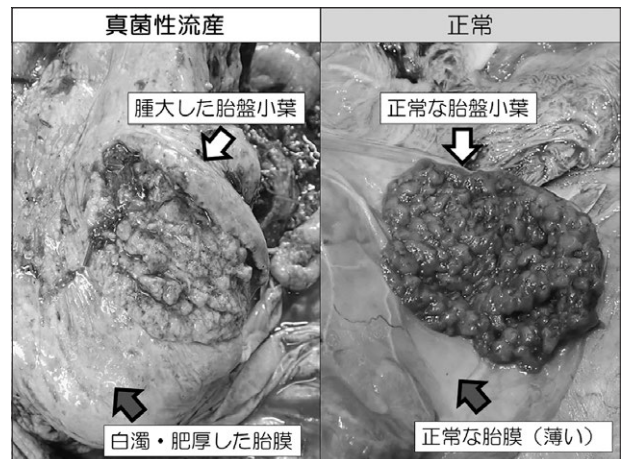
## 牛の真菌性流産について

宮城県北部家畜保健衛生所

牛の感染性流産は、ウイルス、細菌、寄生虫によるものが多くを占めていますが、真菌による流産も毎年散発的に発生しています。原因となる真菌は環境中に広く常在しており、呼吸器または消化器から母牛体内に侵入し、血流を介して胎盤に到達、妊娠6～8ヶ月で流産を引き起こします。病変は胎盤で顕著に認められますが(写真参照)、一方で、胎子は正常または皮膚に局限した病変を形成するのが特徴です。感染した母牛の多くは無症状で経過するため、事前の診断は困難であり、有効な治療法もないため、対策は予防が中心となります。飼養衛生管理基準の遵守、特に換気の良い清潔で乾燥した畜舎環境の整備、汚染飼料を給与しないこと、母牛の免疫状態を良好に保つことが感染リスクの低減につながります。また、衛生的な人工授精等を行うことで、子宮内への直接的な真菌の持ち込みを防ぐことも重要です。なお、通常は流産後の母牛の受胎能力に影響はないとされていることから、重篤な二次感染等がなければ、引き続き繁殖に供することができると

考えられます。

最後に、本病に類似した病変は、牛ブルセラ病や牛カンピロバクター症においても見られることが知られています。疑わしい事例に遭遇した場合は、かかりつけの獣医師または最寄りの家畜保健衛生所、畜産振興部にご連絡くださいますようお願いいたします。



(宮城県北部家畜保健衛生所 板橋知子)

## 令和3年度宮城県農業大学校入校生を募集(一般入校試験前期)

本校は、農業の近代化と経済社会の発展に対応できる、高度な知識・技術を身につけ優れた農業経営者と農村地域の指導者を育成することをねらいとして昭和52年4月に設立された農業大学校です。

平成20年7月には専修学校の機能を付加し、平成21年4月に校名を「宮城県農業大学校」に変更しました。下記により、令和3年度入学生の入校試験を行いますので、多数の出願をお待ちしております。

## 記

◇募集人員(推薦入校試験分を含む)

畜産学部15名、水田経営学部15名、

園芸学部15名、アグリビジネス学部10名

◇応募資格

高等学校卒業者(令和3年3月卒業見込みの者を含む)又はこれと同等以上の学力があると認められ、本県農業の振興に貢献する意欲がある者

◇募集期間 令和2年11月5日(木)

～令和2年11月20日(金)(当日消印有効)

◇試験日時 令和2年12月4日(金) 午前8時45分～

◇合格発表日 令和2年12月11日(金) 午前10時

◇試験場所 宮城県農業大学校本部名取教場

◇試験科目 ①筆記試験 国語総合(60分)

数学Ⅰ(60分)

小論文(60分 800字)

②面接試験 個人面接(15分程度)

◇専修学校のメリット

①卒業生に「専門士(農業専門課程)」の称号が付与されます。

②卒業生は、4年制大学への3年次編入学試験の受験が可能となります。

(編入試験実施の有無については、希望する大学に予め確認してください。)

◇奨学金制度

①本大学校を卒業後、宮城県内での就農を予定されている方は、公益社団法人みやぎ農業振興公社奨学金の申請ができます。また、本大学校の養成課程は、国の事業である農業次世代人材投資事業(準備型)の対象になります。

②(独)日本学生支援機構の奨学金が利用できます。

※詳しくは、宮城県農業大学校教務部学生班・教務班(電話022-383-8138)までお問い合わせください。

## 〈農業大学校生の抱負〉

## 将来の夢

宮城県農業大学校畜産学部 2年 岩瀬 海夏太



私は将来、家業の和牛繁殖経営を継ぎたいと考えています。

私の家では祖父母が和牛繁殖経営をしています。幼い頃、牛舎に遊びに行っては、見よう見まねで「お手伝い」をしては祖父母を困らせていた記憶があり、私は物心つく前から牛に関わって生活していました。牛が大好きでしたが、初めから将来農業の道に進もうと考えていたわけではありません。

初めて決めた将来の夢は、美容師です。その時は中学一年生で髪をいじるのが凄く好きで、友人と毎日髪について話していたほどです。しかし高校生になり、お小遣い稼ぎのつ

もりで始めた牛舎の手伝いは、やりがいがある仕事だと思い始めました。例えば牛のお産で子牛が無事に生まれた時の感動や、餌をあげている子牛が段々大きくなっていく姿を見られる事は、牛を飼っていないと経験できません。美容師以上にやりたい仕事だと思い、新しい夢を追いかけるため宮城県農業大学校に入学しました。

大学校では、畜産の科目だけでなく、教養科目や農業を幅広く学べる専門科目、資格取得や実習など、様々なことを学ぶことができます。中でも、私が一番成長できたと感じたのは、1年生の先進農業体験学習です。私の派遣先は和牛繁殖と肥育の一貫経営をしており、牛の餌やり、体調管理、繁殖牛の発情兆候などの他、自宅の牛舎とは違う構造の牛舎での作業、肥育牛の出荷、繁殖肥育一貫の経営方法など初めて学ぶことが多く、充実した33日間を過ごさせて頂きました。

現在は2年生になり、卒業論文に取り組んでいます。自宅付近の土壌から採取した微生物を増やして水分調整した牛ふんに混ぜて、堆肥化を促進させることができるかという課題です。微生物は肉眼では見えないので試行錯誤しながら、少しでも将来の経営に生かせるように奮闘しています。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により家畜人工授精講習会が開催されないこととなり残念ですが、卒業後は家畜人工授精師の資格を取得し、自分で種付けして生まれた子牛を育てて出荷できるようになることを夢見て、これからも努力していきます。

## 〈New face〉

宮城県北部家畜保健衛生所  
馬場 智恵美

はじめまして。4月より北部家畜保健衛生所の防疫班に配属されました、馬場智恵美と申します。宜しくお願いします。

3月まで酪農学園大学で獣医免疫学ユニットに所属し、病理解剖を中心に病理学を学んでいました。大学時代にはダイビングを始め、北海道の海で潜ってい

ました。これからは地元宮城の海や様々な場所の海に潜っていきたくと思っています。おすすめの海がありましたら教えていただけると嬉しいです！

現在は家畜保健所で、牛、豚、鶏の採血や様々な検査を経験させてもらっています。日々学ぶことが多くあり、楽しく業務に当たらせてもらっています。勤めてから約半年が経ち、少しずつ業務にも慣れてきましたが、まだまだ戸惑うことも多くあります。周りの先輩方や農家の方に助けてもらいながらの日々ですが、一つ一つの仕事を丁寧に行うよう心掛け、努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

宮城県畜産試験場  
高木 理宏

はじめまして。今年度4月より宮城県畜産試験場酪農肉牛部肉牛チームに配属されました、高木理宏（みちひろ）と申します。出身は福島県会津若松市で、東北大学農学部

を卒業後、同大学院農学研究科の修士課程を今年3月に修了しました。大学在学中は動物資源化学研究室に所属し、プロバイオティクス（宿主に有益な作用をもたらす生きた微生物）の乳房炎に対する予防効果について研究していました。また、大学では剣道サークルに所属していました。実力はないのですが、趣味としてまた始められたらと思っています。

実家は非農家ですが、小さな頃から食べることが大好きだったことがきっかけで農学部に入學し、畜

産を学び始めました。学ぶにつれて畜産に対する興味がさらに深まったため畜産職を志し、学生時代を過ごして愛着のある宮城県で働きたいという思いから宮城県での就職を決めました。

配属された肉牛チームでは、肉用種雄牛造成のための産肉能力検定や、新たな肥育診断技術の開発などの研究を行っていますが、試験場内で実験をするだけでなく、場内や県内各地の農家さんの牛に接する機会が多々あります。大学在学中は培養細胞を用いた実験が中心で、実際に牛に触れる機会はほとんどなかったため、日々新鮮で学ぶことばかりです。現在はまだまだ自分でできることは限られていますが、牛体測定や保定の方法、枝肉成績に関することなどを勉強中です。実験手法や統計解析なども今後習得していきたいと思っています。

知識や技術など至らぬことばかりですが、先輩方にご指導を頂きながらできるだけ早く仕事に慣れ、宮城県の畜産業の発展に貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願い致します。





宮城県農業共済組合  
県北家畜診療センター  
平山 匠

初めまして。平山匠と申します。1993年1月28日にアメリカ合衆国ニューヨーク州で

生まれ、1歳になる前に日本に帰国し、その後は神奈川県で育ちました。大学は青森県十和田市にある北里大学獣医学部獣医学科を卒業し、宮城県食肉衛生検査所での勤務を経たのちにNOSAI宮城県北家

畜診療センターで獣医師として働いております。趣味は野鳥観察で特技はジャグリングです。元々実家で犬や猫を飼っていたことから獣医師という職に就きたいと考え始め、大学在学中に家畜に関する職に就きたいと思ったことと、5年間過ごした東北の地にこれからも住みたいと思ったこともあり、宮城県で働くことを決め、現在に至ります。まだまだ獣医師として未熟で、勉強することも沢山ありますが、精いっぱい業務を行っていきたいと思います。よろしくお願いします。



宮城県農業共済組合  
中央家畜診療センター  
岩崎 紗也加

こんにちは。本年度からNOSAI宮城中央家畜診療センターでお世話になっておりま

す岩崎紗也加です。出身地は暑さ日本一を誇る埼玉県ですが、今年は宮城もとても暑く夏バテしてしまいそうです。出身大学は岩手大学です。大学時代に

産業動物関連のサークルに所属し、そこで初めて牛と深くかわり産業動物獣医師を志すようになりました。趣味はスノーボードなので、今年の冬は雪がたくさん降ってコロナも落ち着き、思いっきりウィンタースポーツを楽しめることを願うばかりです。まだまだ分からないことばかりですので、周りの先輩獣医師や農家さん方から多くのことを学び、少しでも宮城県の畜産の発展に尽力できたらと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



宮城県農業共済組合  
県南家畜診療センター  
東山 りつ子

私は4月より宮城県農業共済組合に所属し、獣医師として勤務しております東山りつ

子と申します。幼少の頃より犬や猫といった動物と暮らしており、動物と関わる仕事がしたいと考えておりました。その中で獣医師を目指す気持ちが芽生え、また北海道の大自然へのあこがれもあったため

北海道大学に進学いたしました。入学前は大動物獣医師についてほとんど理解していませんでしたが、北海道各地での実習で大動物や大動物獣医師の仕事に触れる中でその魅力に気づき、自分も獣医師として農家の方達の役に立ちたいと思うようになりました。現在は自分の至らなさを痛感する毎日ではありますが、将来は信頼していただける獣医師になれるよう日々精進して参りますので、よろしくお願いいたします。

### 地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は地方競馬全国協会までご連絡下さい。

地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト (<http://www.keiba.go.jp/>) でもご覧になれます。

(担当: 審査部登録課 電話 03-3583-2142)





一般社団法人宮城県畜産協会  
家畜衛生課  
佐々木 結

はじめまして。令和2年4月から宮城県畜産協会家畜衛生課に配属になりました、佐々木結（ゆい）と申します。宮城県登米市の自然豊かな町で育ちました。今年の3月に東北学院大学経済学部を卒業し、主に経済学や社会問題など、幅広く学んできました。

実家は専業農家ではありませんが、家庭菜園や米作りをしていて、小さい頃には家で牛を飼っていたので、牛をととても身近に感じています。社会に出ても畜産業に携われることをとても嬉しく思っ

ています。

私は小学校1年生から大学4年生の12月までずっとバスケットボールに打ち込んできました。ポジションはセンターでキャプテンとしてチームを引っ張っていました。高校、大学では全国大会に出場することができ、バスケットボールを通してたくさんの事を学び、とても充実した学生生活を送ることができました。私は体力には自信があるので、これからはその熱を仕事に向け、たくさんのことを吸収していきたいと思っています。少しでも早く仕事や環境に慣れ、宮城の畜産業に貢献できるよう、日々精進して参ります。まだまだ至らないところもあると思いますが、精いっぱい頑張りますので皆様、ご指導、ご鞭撻の程どうぞよろしくお願いいたします。



一般社団法人宮城県畜産協会  
家畜改良課  
酒井 晃

はじめまして。令和2年4月から宮城県畜産協会の家畜改良課に配属となりました、酒井晃（さかい あき）と申します。生まれは福島県石川町で、今春に宮城大学を卒業しました。実家は兼業農家で米を作っていますが、だんだん手伝いをしなくなってきたので、そろそろ父の軽トラについて行かなくてはと思っています。以前は牛や鶏の他に、祖父が狩猟をしていたこともあってビーグル犬を何十匹も飼っていました。現在は1匹となってしまうしましたが、私にとって生活の中に動物がいることは当然でした。そんな環境で育ってきたからこそ、自然と動物について学びたいと思うようになり大学を選考しました。

大学では動物遺伝育種研究室に所属し、畜産動物の遺伝育種に関してだけでなく、マウスを供試して

着床免疫システムについての研究を行っていました。研究に伴う動物たちの世話は楽しかったと同時に、自分より動物最優先な生活を継続するという当たり前がどれだけ大変かを痛感させられる貴重な時間でした。また、私にとって身近な存在のはずなのに気付けなかった畜産動物たちの魅力、そして農家さんの偉大さと凄さに恥ずかしながら大学生活を通して学びました。私は、この経験を生かす畜産業界に入りたいと強く思い、この度、宮城県畜産協会で働かせて頂くことになったことを本当に嬉しく思います。

現在は、牛群検定事業や同志会関連、豚の登記・登録等の業務を担当しています。何をするにも初めてのことばかりで不安なことも多いです。しかし、本当にみなさん親切な方ばかりで、一つ一つ丁寧に教えて頂いています。業務内容を早く覚えることはもちろんですが、農家さんや授精師さん、宮城県の畜産関係団体さんとの繋がりを大切にし、社会人として一人前になれるよう精一杯頑張っ参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。